

あまでつすです

旗本の娘お露は、春の梅見の席で浪人萩原新三郎に出会い、一目惚れをする。だが、頑固一徹の父親に、会う事を猛反対される。思い悩み恋苦しむお露は、恋の病に掛かり、医者の治療も空しく若い命を散らす。それを悲しんだ乳母のお米も後を追って歿くなる。こうして二人は幽霊となり、夜な夜なカランコロン、カランコロンと駒下駄を鳴らし、牡丹をあしらった灯笼をお米に持たせて

彷徨う様になる・・・「はつつかん、さつきに幽霊斬なんざあ、ちよいと早えんじやねえのかい」そこは前倒ししてここでご勘弁を願います。いえね、あたしや落語が滅法好きでねえ、知ってるかい、三遊亭圓朝でえ

怖かった。悪い夢をみちまった。「獅師にでも追っかけられた夢でも見たのかい」「いや、それよりもっと恐ろしい夢だ。逆さ吊りにされて身をそがれて、ぐつぐつ煮られて、牡丹鍋にされた」「ああ、そのはずだよ。だってお前さん、ネギ畑の真ん中で寝てたんだから」「てな

ですから、矢鱈と物を落としたり、迷子になっちゃったりしてたつてんだから、まるでこどもだねえ。落語家の大名人、百年に一度現れるかどつかつてえ芸人ですからね。自分で筆を執つた「真景察ヶ淵」や、「怪談牡丹灯笼」「芝浜の革財布」なんてえ名作が残つてる。中でも幽霊斬を十八番にしてたそので、先の話は「怪談牡丹灯笼」のさわりなんです。ね、「悪い事をせぬ方は幽霊というものは決してございませぬ」なんてことをいつてましてね。

悪い事をしたという後悔の念が心にあつて、人に幽霊を見せたんじやねえかと。そうそう一時、法華に凝つたことがありまして「不借身命」(ふしやくしんみょう)なんて難しい言葉を口にしてたそのです。まあ、身命を惜しまず芸道に打ち込めてえ事でしょうな。古くは日本に「借身」(あたらしみ)てえ言葉もある様で。何でも、埋もれた木で朽ちさせるには惜しい。つまるところ、この人はもったいないなあと思う時に使つ様ですがね。まあ

長々お付き合いを願つたんで、ちよいと疲れなかつたんじやあねえですか。圓朝が歿くなつたのが、六十二つてえいいますから、天保十年生まれだから江戸と明治を半分ずつ生きた訳ですな。その死亡届に「進行性麻痺兼続発性脳髓炎」と病名が書いてあつたそう、早くいやあ脳梅つてやつです。遊びが祟つたんですかねえ。おあとがよろしいようです。

九州の空より

風地蔵に仕事には行けないので、経営者は働けないと思ひこんでた1年目、ハローワークに聴いてみたら、「かまいたくはないけど」まさに、息つく間

怖かった。悪い夢をみちまった。「獅師にでも追っかけられた夢でも見たのかい」「いや、それよりもっと恐ろしい夢だ。逆さ吊りにされて身をそがれて、ぐつぐつ煮られて、牡丹鍋にされた」「ああ、そのはずだよ。だってお前さん、ネギ畑の真ん中で寝てたんだから」「てな

ですから、矢鱈と物を落としたり、迷子になっちゃったりしてたつてんだから、まるでこどもだねえ。落語家の大名人、百年に一度現れるかどつかつてえ芸人ですからね。自分で筆を執つた「真景察ヶ淵」や、「怪談牡丹灯笼」「芝浜の革財布」なんてえ名作が残つてる。中でも幽霊斬を十八番にしてたそので、先の話は「怪談牡丹灯笼」のさわりなんです。ね、「悪い事をせぬ方は幽霊というものは決してございませぬ」なんてことをいつてましてね。

悪い事をしたという後悔の念が心にあつて、人に幽霊を見せたんじやねえかと。そうそう一時、法華に凝つたことがありまして「不借身命」(ふしやくしんみょう)なんて難しい言葉を口にしてたそのです。まあ、身命を惜しまず芸道に打ち込めてえ事でしょうな。古くは日本に「借身」(あたらしみ)てえ言葉もある様で。何でも、埋もれた木で朽ちさせるには惜しい。つまるところ、この人はもったいないなあと思う時に使つ様ですがね。まあ

悪い事をしたという後悔の念が心にあつて、人に幽霊を見せたんじやねえかと。そうそう一時、法華に凝つたことがありまして「不借身命」(ふしやくしんみょう)なんて難しい言葉を口にしてたそのです。まあ、身命を惜しまず芸道に打ち込めてえ事でしょうな。古くは日本に「借身」(あたらしみ)てえ言葉もある様で。何でも、埋もれた木で朽ちさせるには惜しい。つまるところ、この人はもったいないなあと思う時に使つ様ですがね。まあ

悪い事をしたという後悔の念が心にあつて、人に幽霊を見せたんじやねえかと。そうそう一時、法華に凝つたことがありまして「不借身命」(ふしやくしんみょう)なんて難しい言葉を口にしてたそのです。まあ、身命を惜しまず芸道に打ち込めてえ事でしょうな。古くは日本に「借身」(あたらしみ)てえ言葉もある様で。何でも、埋もれた木で朽ちさせるには惜しい。つまるところ、この人はもったいないなあと思う時に使つ様ですがね。まあ

風地蔵新聞

十年を振り返って

鎌澤 宣子

今回は、大橋さんとの出会いから書きます。大橋さんは、原先生から遅れる事1カ月位でしようか、三月始め位、リーちゃんももう少ししたら、高山の高校に入学するといふ頃に入ってきました。

最初の印象は、きれいな人、頭の切れる人だなと思ひました。てきぱきとしていて、お願いをした事以上を考えて動かれて、すごいなと、私にはないものを持っているなという感じで、見習わなければ

と書いたのを思い出します。入ってこられて、一カ月しないうちに、リーちゃんの卒業記念と、これからは一緒に旅行する事もしばらく出来ないのではという事で、二泊三日の沖繩旅行にリーちゃんも社長と私の三人で行つたのです。が、もう二人とも入つて来たばかりとは思ひえないように、お店を任せて留守にしても、しつかりやってくれるだろという感じで、安心して旅行に行つたのを思い出します。ふつうなら、まだ入つて来てそんなに経つてない人達に任せては行かずに、行くとしたら

店を閉めて行つたと思ひます。でも頼もしい二人でしたので、出かける事が出来ました。本当に二人には感謝しています。二人が入つてきた年の九月に高山に四人で、一泊二日で行つた時に、同じ部屋に四人で泊まつて、はじめてゆつくりいろいろんな話をしたように思ひます。上高地を散策していた時、社長は最初のうちは、写真を撮つたりしてゆつくり歩いていて、私と原先生と大橋さんとで、先を歩いていて、分かれ道の所で三人で待つていた時も、その後、今度は社長がどんどん先に歩いて

第103号 発行 編集 風地蔵 白石 美帆 〒503-0922 岐阜県大垣市馬場町85 ヤフープログ 毎日更新中 炎の女みほ日記 http://blogs.yahoo.co.jp/rion5230

れたりする事で、私も成長させてもらえてるなと思ひます。特に社長が福岡にお嫁入りをして、三人でお店を任されてからは、どうしてもつぱり気味になる私に、ブレーキをかけて下さる、そこで一歩踏みとどまって考えられる事が出来ているかなと思ひます。私より年下の大橋

さんには、申し訳ないけど、時々頼りになるお姉さんだなと思つてしまいます。これから原先生と一緒に、私を助けて下さいね。よろしくお願ひします。次回は、社長が福岡に行つてからの、私達三人の奮闘記を書きます。



ツタンカーメン展と大阪の旅

原 由里子

夜10時から、大阪・東京の2都市でツタンカーメン展をする。伝え

ました。ツタンカーメンの副葬品はまだ90年前に見つけられた比較

高度成長期の頃に初めて日本に「黄金のマスク」が来まし

た。ちょうど47年前に来たそうです。それから約半世紀

ぶりに日本へ来て、これを見逃したらいつ見れるかわからな

い。3月17日(土)6月3日(日)まで大阪の海遊館の隣

の建物で開催される。大阪ならまだ近い、海遊館の近くならア

クセスも分かりやすい。もともとは、エジプトにあるカイロ博

物館にあるものだから見に行くにも倍の時間と費用が掛かる

絶対見に行くぞと決めて、5月に行くぞと計画を立てていま

阪に行く日の朝にロソンでチケットを買いました。しかし、ツタンカーメン展のチケットだけだと2500円だけど、そこにプラス海遊館にも入れる共通券と大阪湾をクルージングが出来る共通券がありました。余裕を持って出かけたものの、待ち合わせの時間を気にしていたのもあつたと

た。その日、天気予報では春の陽気になりました。暖かくなると言っていました。着て来た上着を脱いで、自転車のカゴにでも置いていこうかと考えました。けど、上着は着ていきましたが、着ていて正解でした。予報とは裏腹に、寒かったです。一緒に行った姉は、予報を信じて上着を持ってこなかったたので、始終「寒い！」と言っていました。

大阪に着いて思ったのが、ツタンカーメン展をやっているのに関連する、広告やポスターが貼っていないのが不思議でした。「本当にやっているのかな？」と疑問に思えてきました。

大阪市営地下鉄、中央線の電車に乗り、大阪港駅に着きました。ホームに出るとツタンカーメン展のポスターや広告が貼ってあり、ホッとしました。改札に向かう途中に、「ツタンカーメン展60分待ち」という文字がありました。

「ウソー」と半信半疑で会場に向かいました。歩いていく途中、姉に、「ゆり、変なのに取り憑れんよ」と私「何も取り憑れないから大丈夫」と姉「フアラ王の呪いとか」

思います。「あれ？高いな」と思いつつ、クルージングが出来る共通券を買っていました。8時に大垣駅の改札口の近くで待ち合わせをして待っていたので、8時10分前に到着して姉と合流して電車に乗り、出発しました。

電車の中は、出勤途中の人や学生さんよりも、どこかに遊びに行く人の方が多

い感じがしました。大学、短大、高校生は、卒業していたり、春休みに入っている人もそういえばいる

なと思いつきました。姉が青春18切符をチケットを安く買える所で、借りてきていたので、そのチケットを使い各駅停車の電車で大阪に向

かい、10時15分頃に大阪に着きました。私「別に盗んだりするわけじゃないから取り憑れるわけないし。」姉「フアラ王に狙われたらどうしよう」私「大丈夫！フアラ王も人選ぶよ」姉「そうかな。おかしいな」という会話をしながら、確実に同じ場所に向かっているであろう結構な人数に気がきました。

会場に到着し、入口の所に向かったら、長蛇の列になっていて、まだ小学校、中学校が春休みに入っているときだったので、これくらいで済んでいるんだと思いました。

海の近くなので、海風があり寒いのですが、まだ人の壁があつたので並んで待つていても我慢できました。やっと会場の中に入れました。展示してある所は、その建物の2階にあり、エスカレーターで上がるので、事故防止のために規制をして区切りをつけてエスカレーターに乗せてもらいました。

展示の入口の所で姉が時計を見て、駅に貼つてあつた60分待ちという文字を思い出して、「本当にここまで来るのに60分だよ。ちゃんと計算しているな」と感心していました。

「さあ、見えるぞ！」と思つていたら、まずは入る前に展示してあるものの凄さと素晴らしいさを軽く知ってもらえるようにと、VTRを見せる部屋にまずは入ります。そして映像と解説を聞いた後、ようやく展示している所に入ります。

入つて最初に石で出来たその時代の王と妃の像があり、進んでいくと、3300年前に使われていた楽器や椅子、収納箱や扇など金を塗つてあるものや、すべて黄金や宝石を使っている短剣、カノポス(内臓を入れる容器)2mくらいある棺があつたりと、当時の繁栄していた事と技術の高さが伺えました。

展示会場を出て、1階に降りてお土産コーナーを見に行きました。このコーナーには、いろいろな物も無く大きなポスターの前で写真撮つて会場を後にしました。

外に出て、自由軒があつたので入り、大阪名物カレーを食べ、その隣の2度食べて、その隣の2度浸け禁止の串カツ屋さんで串カツを食べ、その建物を出ました。

大阪の人に対しての勝手な思いこみかもしれないですが、明るく良くしゃべってくれるのかと思つていましたが、話し掛

けないにしても注文取りに来るときや、注文の品を持つてくる時くらい笑顔や明るい声くらいはしてほしいかつたと思つた。とにかく早くその店から出たいと思つたのが印象です。

クルージングの共通券を買っていたので、せっかくだからと乗って45分の船旅をしました。朝早かつたのもあり、最後の方は寝てしまつたが。

大阪に来たら、道頓堀に行きたいと思つていたので、電車に乗り向かいました。地下鉄に乗って道頓堀に行った事は何度ありますが、JRに乗って来たのは初めてだったので場所がわからず、どこだろうと探しながら歩いてみると、テレビをよく見るお笑い芸人の人がいて、大阪に何度か来た中で、芸能人に会つたのは初めてでした。番組の収録のようで、他にもお笑い芸人さんがいたり、女優さんがいたり、アナウンサーの方がみえました。

ちょうど収録していた所が道頓堀だったので、目的地に着きました。大阪に来たから、お土産を買おうとフラフラ見ていたら、ゲームセンターの前にゆるキャラナンバー1に選ばれた、熊本のゆるキャラ「くまもん」のUFOキャッチャーがなぜかあり

ました。名前は聞いた事がありました。本物は初めて見たので、100円だったの取つてみる事にしました。そのゲームセンターの

店員さんが話し掛けてきて、私はUFOキャッチャーをして、姉はその店員さんと話していました。その店員さんは、一年前に大阪に来たばかりの養老出身の人みたいで、よけいに話が盛り上がっていました。

2回失敗したので止めようとしたら、すかさず鍵を取り出し、絶対に誰でも取れる位置にくまもんを置いてくれました。「チョンと触つただけでも取れるよ」と言われて、折れそうになつた心をもう一度やる気にしてくれました。そのくまもんは今、私の普段使っている鞆にぶらさがっています。

おわり



鎌澤さんに、いつもお手紙もらつてるのに、返事全然かいとらんで、お母さん、住所教えて！
(りおん)

ちよつと立ち話

いつもありがとうございます。お宅さんがエステの人、ご本人さんかね、いつも向こうの部屋に、いるのね、想像しながら読んでよ。
(近所の奥さま)

(近所の方)

今回は3人共、風地蔵に関わる記事。読んでみると懐かしくおもしろいです。社長はそれを読んで一喜一憂している。奥田さんは常に仕事と家庭が一緒から1番で、あまでうすさんの素敵な趣味にうらやましく思います。(原)

リーちゃん、最初の子かと思つたけど女の子なんです。成長してますね。(エステのK・Tさん)

おんちゃん、もうぎゅーっと抱きしめてあげたいと思つた。
(馬場町Mさん)

風地蔵新聞に記載されて「あまでうす」さんがお店に来た。私はまるつと2年、この風地蔵でお世話になつてお会いするの初めて。新聞の内容は難しく、どんな方かと思つていましたが、まあユーモアたっぷり楽しかったです。またお店に遊びに来てください。一緒に楽しい話をしたいと思います。

(大橋)

文章を読みながら、ああこういう事もあつたなと思ひ出し、大笑いをしてしまいました。奥田さんはいつも多趣味で前向きで、あまでうすさんは豊富な知識にいつも感服しています。私も見習つて、いろんな事を前向きに造詣を深めたいと思います。

まずは、大橋さんの息子さんのご結婚おめでとうございます。結婚式当日までの、家族の思い、ぐいぐい伝わりました。原先生

の文章は、いつも読んで楽しいのは、自分の事が書かれていてからだろうと思つていたけれど、今回も引き込まれました。店長は、作文よりも、この作文や、会議の自身を送つてくれる時に一緒に手紙の方が、本当に身にしてみても、すごい成長したといつか、苦勞の分、人を思いやる気持ちも素晴らしいと感動して励まされています。涙もろくなつたのか、なんども目頭が熱くなります。

いやあ、今回もスタッフの顔を、

その時の様子を思い出したり、想像しながら打ち込みました。かきながら、これを言おう！あれを言おう！と思うのですが、いっぱい感想がありすぎて、言葉にならないくらいです。きつと、みんなも一緒に！
(白石みほ)

結婚

大橋 美紀

私の息子 21才の長男が4月21日に結婚をしました。まさかこんなに早く、この日が来るとは思いませんでした。まだまだ自分自身の事でいっぱい、とても家庭を持つなんて。理由があり、8月末には息子が父親になるんです。彼女は息子より5歳上でしつかりもの。とても子供が出来たことをご両親も喜んでくれたと息子から聞き、そして結婚へ。結婚をすることが決まると、結婚式まで2カ月のスピード準備。準備もそうです。私達夫婦は息子の事を考えると、気持ちの整理ができず、息子が本当に出来る

のか？これからの生活を考えると、心配と不安ばかりで素直に喜んでやることに1カ月できず、主人は3日、いや前日まで気持ちの整理がつかないままでした。今の子供達は何かも自分で決めてしまっている。そして親は報告される。私達の時代では少し考えられない事もある。主人も息子は顔を合わせるとうい一言口にすると言ひ合いになる毎日でした。私はお互いの気持ちを直しながら、息子の素直に喜んでほしいという顔をみるようになり、私は一緒に準備に協力し、式の2週間前の前撮りの時も、彼女のご両親と最後の打ち合わせでも楽しませてもらいました。主人は一回も式場に足を運ぶ事もない。私が、どう

してまだ受け入れられないの？と問ひかけると、「俺にも気持ちがある。俺の気持ちのペースがまあと違う。」と言ひ返され、まあ、そつとしておこうと思ひ、結婚式の日を迎えました。私は朝、まだ子供達が(長男・次男)寝てる時、美容院へ行き、家に戻るとまたまた主人と長男がおもしろくない顔をしている。うううなんてこつたあ。なんて思ひながら、私らしくその間を振る舞い長男を送り出し、店長に着付けをしてもらうので、店長を迎えに行き、我が家で着せてもらいました。一番準備に戸惑つていたのが次男で、結婚式に出席するのは初めてではないですが、小さい時で覚えてもないでしょう。高校卒業

して、髪も伸ばし、その髪をセットするのに洗面所で「うわ 決まらん」なんて言ひながら、うるさいのなんのつて。次男待ちで私達はコーヒーを一杯飲む時間が出来、飲み終わると、やつと準備が出来たらしく、店長は風地蔵まで、私達と一緒に車で、よくしゃべる息子の会話に大笑い。店長を降ろし、式場へと向かいました。到着し、40分ぐらいすると親戚の方、そして会社の方、友人の方がいらつしやいました。

2時間半の披露宴では、私達夫婦はお礼と挨拶まわり、次男もビール片手にひとりで廻つてくれてなると出来た子でしようと感じ。そんなこんなであつという間でした。私が披露宴の中でぐつときた場面が一つありました。それは一足先にお色直しに新婦が退場したその10分後、新郎がお色直しに退場するのですが、司会者の方が長男に「誰と退場したいですか？」と問ひかけられると長男は「誰か？」と弟の名を呼んだ。2人は照れ笑いをしながら腕を組み、皆さんは大爆笑。しかし、私は2人がパフォーマンスをしながらの退場する姿にぐつときました。やつと次男が家に戻つて来て、家族が揃つたのに、又今度は長

男が我が家を出る事になり少々寂しいのですが、今日という日を忘れないで、皆さんの暖かい祝福に感謝し、これから2人仲良く新しい大切な命を育てていってほしいと願ひます。そうそう主人ですが、私よりボロボロで、涙、涙で、両親への息子からの言葉として息子と固い握手をしているのを私は隣で見て、ほつとした半面、男同志でなで面倒なんだろう。素直になれば簡単な事が、出来ない2人を見て、改めて似てるーと思ひました。私達も若くして結婚をしています。

